

午前8時 信号交差点 左折中のトラックに巻き込まれ

横断中の小1が死亡

現場近くで工事、工事車両など交通量特に多く…走り去ったトラックを、30分後に発見

◆交差点 左折時は、左後方からの自転車、左からの横断者に注意◆

2016/2月17日12時25分

17日午前8時ごろ、東京都の信号交差点で、横断歩道を歩いて渡っていた近くに住む小学1年の男児(7)がトラックにはねられ、搬送先の病院で間もなく死亡が確認された。トラックは現場から走り去ったが、警視庁の警察官が約30分後、数キロ離れた路上で発見した。運転していた60代の男性から道路交通法違反(ひき逃げ)などの容疑で事情を聴いている。男児は登校途中で、青信号で渡ろうとしたところ、左折中のトラックに巻き込まれるようにしてはねられたとみられる。

2時間ごとに、15分休憩で

自分の命も守ろう!

「なれた道・なれた仕事」に注意! <“だいじょうぶだろう”は厳禁です>

交差点 「青」信号で発進時
前方、左右、歩行者の安全確認を、もう一度しましょう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車が動いているときは、いかなる場合も
常に、100%運転に集中しましょう

業務用の車で当て逃げ・酒気帯び容疑で逮捕

2016年2月18日(木)14時26分

警察は乗用車を運転中に当て逃げし、その後も酒気帯びで運転していたとして、日本年金機構の男性容疑者(55)を道路交通法違反(事故不申告、酒気帯び)の疑いで逮捕した。容疑者は17日午後0時すぎ、山梨県で事務所の業務用乗用車を運転中、対向してきた乗用車と接触したが、停止せずに逃走した疑い。対向車の男性が目撃した車種、ナンバーなどの情報をもとに、警察署員が機構事務所を訪問。車体に傷が付いた事務所の車で戻ってきた容疑者を問いただしたところ、「用事があり、急いでいた」と当て逃げの容疑を認めた。このため、同署は容疑者を事務所から約300メートル西側の接触事故現場に呼び、現場検証したが、終了後に酒の臭いがしたため、検知した結果、基準値を超えていた。

音更町 横断歩道を渡っていた中学生ひき逃げ容疑、男逮捕

2016年2月18日22時36分

音更町で1月、中学生2人をひき逃げしたとして、帯広署は18日、池田町の会社員の男性容疑者(47)を道交法違反の疑いで逮捕し発表した。容疑者は事故で落下した車のドアミラーと同型のものをインターネットオークションで購入して取り付け、発覚を免れようとしたという。発表によると、容疑者は1月15日午後6時すぎ、同町の緑南中学校前で、横断歩道を渡っていた中学生の列に車で突っ込み、2年と1年の男子生徒計2人の手足などに打撲を負わせたのに、そのまま逃げた疑いがある。同署によると、事故現場に残った左側ドアミラーや目撃証言から車種を特定。

吹雪で視界が悪かった 計12台追突、玉突き!

◆視界不良時は、安全な場所に退避、「止まる勇氣」◆

2016年2月18日(木)

17日午後3時20分ごろ、青森県の県道で、追突、玉突きなど車12台が絡む計4件の多重事故があり、1人が軽いけがをした。当時は吹雪で視界が悪かったという。

黒い路面、ブラックアイスバーンのスリップ事故

「凍結しているかもしれない」という心構えが必要だ

2016年02月18日 15:30

車両がスピードを抑えないために発生するスリップ事故への懸念が高まっている。平年と変わらない冷え込みが続いており、雪がなくても路面が凍結している恐れがあるためだ。スピードを出したままカーブや日陰を通り、スリップすると、車両を制御できず、重大事故を引き起こす危険性が高まる。特に路面が透明な氷で覆われた「ブラックアイスバーン」に対して警察は注意を呼び掛けている。

雪が降らない日が続いても、路肩の雪が解け、路面に氷の膜をつくることがある。凍った表面が黒く見えることから、ブラックアイスバーンと呼ばれる。光を反射する黒い路面は凍っているのか、湿っているだけなのか見分けることが難しい。「ぬれているだけ」と油断して通った結果スリップする一という事態を招く。警察は「凍結しているかもしれない」という心構えが必要だ」と訴える。

酒気帯び運転の係長を懲戒免職

2016.2.19 07:08

新潟県の市役所は18日、道路交通法違反(酒気帯び運転)で罰金50万円の略式命令を1月に受けた男性係長(46)を懲戒免職処分にしたと発表した。係長は昨年9月、コンビニで買った缶酎ハイを飲んで車を運転し市内で工事現場の看板に接触。通報を受けた警察署員の検査で基準値を上回るアルコールが検出。